

意志決定支援研修会のお知らせ

三次市障害者支援ネットワーク連絡会議が発足し 10 年以上が経過し、当初の3部会から現在は、6 部会(相談支援、地域生活支援、就労支援、療育・発達支援、差別解消支援、医療的ケア児支援)となり、活動は広がってきています。

一方で個々のケースにおいては、多様化、複雑化により一つの部会(事業所)だけでは解決できない課題や、社会資源の不足などが顕在化しつつあります。各部会の枠を越えた連携や情報共有が、今まで以上に必要と考え、今回の研修会を企画しました。

研修テーマの「意思決定支援について」は、障害者総合支援法や障害者基本法において重要な取組として位置づけられています。

また、「意思決定支援」については各部会共通のテーマでもあり、今回の研修会を企画しました。

「すべての人の意思を尊重できる社会を共に作りましょう」

と き：2022年3月13日(日) 13:30～(受付13:00～)

ところ：三次市福祉保健センター 4階ふれあいホール

定員：80人(先着順)

スマホの方はこちらのQRコードからお申込みください。



パソコンの方はこちらのURLからお申込みください。 <https://forms.gle/45t26Ho6GdaTgzKd7>

申込締切 2022年3月4日(金)



ながわまさる

講師 名川 勝氏

- ・筑波大学人間学群障害科学類講師
- ・一般社団法人日本意思決定支援ネットワーク代表理事他

ジュンジュン

Jun²の猫吸い Vol.2 とろけちゃう～

わが家に12月から、猫が増えました。始めのうちは、先住猫の「たいやくん」が子猫を威嚇したり、猫パンチを浴びせていましたが、時間の経過と共に2匹は仲良くなり、今では写真の通り一緒にコタツに入って寝たり、運動会を始めたり、一緒にご飯を食べるなど親密度がアップしてきました。

飼い主としてはうれしい限りです。

仕事で疲れて帰ったら、2匹で必ずお出迎えをしてくれて“すりすり”してくれます。

実は、おやつを煮干しが欲しいだけなんですけどね…

くりくりお目で見つめら

れる瞬間がなんとも言えず心がとろけちゃう瞬間です。

そして、2匹で寝ているところにお邪魔して猫吸いも忘れず行っています。



たいやくん と あずきちゃん

三次市障害者支援センターでは、YouTube や インスタグラムでも情報発信しています。ぜひご覧ください。



三次市 障害者支援センターだより

2022年2月 No.68

〒728-0013

三次市十日市東三丁目14番1号

三次市福祉保健センター2階

TEL (0824)65-1131

FAX (0824)65-1132

E-mail support@p1.pionet.ne.jp

URL <https://houkatsu-miyoshi.org>



マヌケル君の「突然ですが ちょっとお話を聞かせてください。」Vol.1

“地域に携わるお店として、住みやすい環境に変えていく” マヌケル君は地域のコーヒーショップ エイコーズさんに おじゃましました。



専務取締役
早船浩美さん

専務取締役の早船さんにお話を伺いました。

エイコーズさんでは、コーヒーのドリップバッグの袋詰め作業を市内の障害者就労支援施設へ依頼したり、庄原特別支援学校の生徒さんが描かれた絵をドリップバッグのパッケージにしたりされています。始めたきっかけは、店長の子どもさんの繋がりがあったそうですが、早船さん自身も、いどこに障害があり、障害があることによって地域の学校で就学することのハードルの高さを目の当たりにしてきた体験があったからだそうです。「地域に携わるお店として、住みやすい環境に変えていくことを目指しています。」と語られた早船さん。



「色々な場所で障害児や障害者の親御さんが一歩踏み出していこうとする広がりや、雇用面からアクションを起こし、三次市の雇用にもつながる形にしていきたい。その過程は、同情や単なる注目集めなんかではなく、楽しさそのものです！」と力強く、温かい瞳で話してくださいました。

希望にあふれたお話にマヌケル君の瞳もうるうるでした。



店長のひろせさん
障害のある息子さんにどのように成長していったかについてお尋ねすると、「ほがらかに、好きな事を見つけて、人生の主人公になって欲しいです。」とすてきな笑顔でお話してくださいました。



三次市障害者支援センターだよりの新企画

マヌケル君の「突然ですが ちょっとお話を聞かせてください。」では、誰もが住みやすいまちづくりをめざして、様々な取り組みをされている事業所や個人の方を紹介していこうと思っています。突然取材にうかがうかもしかかもしれませんが、どうか笑顔で迎えてやってください。 マヌケル

石焼き芋が教えてくれた

今年の冬も昨年同様寒い日が続いています。
この寒い時期、みなさん、これといった予定が無い
休日はどう過ごされていますか？私はこんな休日の朝
は、できる限り布団の中で過ごしたいと思うのです
が、なかなかそうもいきません。しかたがないので、布
団からでて、少しの間ダラダラと過ごし、「なにか」をす
ることにします。

でも、ここで、この「なにか」が問題です。
「なにかをするには理由が必要」だからです。

なにもせず時間だけが流れてしまうのももったいないので、特に意味もなく庭で焚き火をしたり
していますが、たまにダッチオーブンで「石焼きいも」を焼くことがあります。石焼きいも用の石はネッ
ト通販で手軽に手に入れることができます。

まず、七輪に炭をおこし、強めの火力でダッチオーブンを 30 分予熱します。石が熱くなったのを確
認して、その上に「いも」を並べ、ふたをして 30 分中火で焼きます。その後ふたを少しだけ開けて、水
分を飛ばしながら、30 分焼きます。この間、焦げつかないように「いも」を適当に回転させる必要も
あります。「鳴門金時」と「安納芋」で試してみましたが、私の好みは「安納芋」です。

こうして手間暇かけて焼くのですが、火加減の調整が難しく、毎回「これはうまい！」と言える焼き
あがりにするには、もっともっと修業が必要なようです。

そんな私に、すごく役立つものがあります。

それは、てぬき料理研究家の「てぬキッチン」さんが書かれている「魔法の
てぬきおやつ」「魔法のてぬきごはん」という本です。わたしはこれを参考
に、ポテトフライやヘルシーポテトチップス、濃厚チョコアイスなどを作り
ます。この本のおりにつくると、簡単に毎回おいしいものが出来あ
がります。YouTube にも「てぬき料理やおやつ」の動画をたくさん
投稿されているので、みなさんも機会があれば、ぜひお試し
ください。

世の中いろいろな情報が飛び交い、自分の欲しい情報が、い
つでもどこでも手に入れることができる時代です。あふれる情
報に自ら振り回されることにならないよう、時々自分の足元
を確認しながら、生きていきたいなと思います。

そして、暖かくなったらコロナ禍も収束していることを信じて！

今からエネルギーをフルパワーに充填して！

思いっきりやりたいことをやっちゃいましょう！！

センター長 安永 統



そこで一句 冬の園 小さなため息 奥深さ みっちー

新社員を紹介しま〜す

2月1日から、新しい仲間が増
えました。さっそく自己紹介をし
てもらいましょう。



2月1日からお世話になります清政 梢です。
初めてだらけでご迷惑をお掛けするかもしれませんが
よろしく願いいたします。私の好きな事は、食べる事
です。特にチョコレートが大好きです。
作る事はそんなに好きではないのですが…
冬になると毎年 3 キロほど太り…
なかなか体重は戻りません。
手芸が好きで刺繍や編み物も好きです。
時間があればいくらでもしてしまうので肩が
凝り、目も疲れてなにもできなくなってしまいます。
こんな私ですがよろしく願いいたします。

こずこずです。

私の“ホツと”は、毎晩暖めたお布団に入り眠りにつくときです。
暖めるがポイントです！

あなたの“ホツと”を、おしえてください。

今回は さつさん、私の“ホツと”（冬編）です。

- ・その1 ホットコーヒーをフーフーしながら飲むとき
猫舌にはフーフー大事！！
- ・その2 夜ごはんに悩んでいると「鍋にしよう」と言ってくれる週末
いつも私から言って楽チンしたいと思われても嫌なので、
子どもや夫に言わせる
- ・その3 身体が冷えている夜に、湯船に浸かって足先から
温もりを感じる瞬間
こんな日は誰よりも先に入って湯船を独占してます
- ・その4 こたつに入って家族で団欒しているとき。
こたつでみかんは最高の組み合わせ！
- ・その5 雪道の運転で無事に目的地に着いたとき
特に夜道は恐怖心増↑ 身体に力が入って疲れも増↑



この企画では、あなたの「ホツと」を募集しています。

「私はこんなことで“ホツと”するよ。」「僕はこれで“ホツと”したよ。」など、普段のちょっとした
あなたの“ホツと”をお知らせください。増刊号などで紹介させていただきます。
電話・ファックス・メール・郵便で受け付けます。もちろん匿名でかまいません。
あなたの“ホツと”をお待ちしています。

投稿先 電話 0824-65-1131 ファックス 0824-65-1132
Eメール support@p1.pionet.ne.jp